



広報ながと×ほっちゃんテレビ 合同企画

長門市地域おこし協力隊 新春特別座談会

in 旧文洋小学校

都市部の住民を受け入れ、最長3年の任期で地域おこしの支援や地場産品の開発・販売・PRを図る「地域おこし協力隊」。今回の座談会は、より市民の皆さんに隊員の活動と熱意を知ってもらおうと企画され、市内の8人の隊員が意見を交わしました。

外から見た長門市の魅力

地域おこし協力隊は全国各地で募集が行われている取組ですが、皆さんはどうして長門市を選んだのですか？魅力や着任のきっかけを教えてください。

村尾 僕はUターンで帰ってきたので身内目線になりますが、何よりもおいしい食べ物が多いところが魅力だと感じます。

津田 良い意味で歴史にとらわれておらず、時代の変化に柔軟で、新しいことをチャレンジするのには良い地域だと思います。

一ノ枝 一番最初に感動したのは、今までに見たことがないほどの漁火。山から見下ろす景色は幻想的で、一つの素晴らしい観光資源だと感じました。

岡 私も長門市のきれいな景色が好きです。これまで木や花に囲まれて過ごしてきたので、つい深呼吸したくなるような、自然のあるまちで活動したいという思いがありました。

磯野 私もUターンなので、外

に出て気づいたのは、人のやさしさ。道を譲ってくれたり、ライトがついていると教えてくれたり、車の運転中にも感じます。

中野 ジビエ事業に携わりたい思いがあった僕は、長門市に可能性を感じたから帰ってきました。東京での生活を経て、新天地として向かってきたイメージで、自然に寄り添って生きていくことが長門市の魅力です。

何をどう発信するか
地域の課題を解決し、魅力を広めていくためには、まず多くの人に知ってもらうことが必要になります。皆さんは活動の中で、どういった工夫をして情報発信に取り組んでいますか？

中野 僕たちは、そんなにすごい人間じゃない、あくまで普通の移住者。だから地域に入って、自分たちが感じたことを素直に発信することが大事なかな。

村尾 力のない言葉は届かないし、面白いと思ってもらえない。実感のある言葉で、自分が面白

いと信じていることをしっかりと伝えることが大事ですね。

大迫 私は小学校に行つてチラシを配ったり、これまでに出会った人とのつながりを次に広げて、情報を広めています。

岡 私は千葉県から来たので長門市に縁もゆかりもありませんが、昔からの友人や知り合いに活動を伝える際は、口コミを大事にして取り組んでいます。協力隊の活動は主体性があつて、言葉に実感があるので、賛同してくれた人がSNSを活用して広げてくれることもあります。

中野 もっと都市部の人に、田舎ってこうなんだと、日常を配信していければいい。僕も長門市にイノシシやシカが増え始め、そこにチャンスを見いだしたからこそ、こうして長門市に帰ってきたんです。

地元の人は、案外地域に眠っている宝に気づいていないことがあります。移住者である皆さんが日々の活動の中でスポットを当てていくことが大切ですね。

隊員同士のコラボレーション

地域の垣根を越え、隊員同士で協力することはありますか？

中野 木を使うなら岡隊員、リノベーションなら中田隊員と、依山での活動は協力できる可能性が大いにありますね。

中田 まちの活性化のヒントは普段の会話の中に転がっていると思います。隊員の皆さんとの会話からも学ぶことは多いです。

大迫 みんな忙しいので難しいことありますが、イベントを手伝うことはありますね。

地域の皆さんに早くから空き家問題に目を向けてもらい、皆さんの思いも知った上で移住者に家を紹介していきたいです。

一ノ枝 初めてイベントを企画した際、自分一人では難しいことも協力があればもっと良いものができると感じました。人が集まる場所を作り、交流から協力につなげていきたいです。

岡 4月には「長門おもちゃ美術館」がオープンしますが、「木のたまご」を作る人が足りない状況。木工に興味のある人はぜひ参加してもらいたいです。

大自然を遊びに生かそう

磯野 向津具は移住者との関わりが多い。移住したいのに住む家がないという声もあるため、

大迫 周南市出身/1年目
空き家改修、移住・定住の促進で仙崎の活性化を目指す。

中田 晃司 (仙崎地区)
周南市出身/1年目
空き家改修、移住・定住の促進で仙崎の活性化を目指す。

地域に求めることは

より良い活動を行うために、地域の皆さんに支えてほしい、協力してほしいことはありますか？

津田 担当範囲が広いので、地域間のつながりを強めるため、各地域の状況を把握できる仕組みがあるのと良いなと感じます。

村尾 口コミ力が高い人、情報が集まってくる人が地域にいます。とても助かりますね。

磯野 向津具は移住者との関わりが多い。移住したいのに住む家がないという声もあるため、

中野 博文 (俵山地区)
長門市出身/2年目
狩猟やジビエ肉の普及、角や牙を利用したアート制作に挑戦。

津田 祐介 (三隅地区)
萩市出身/3年目
特産品の開発や各種アートイベントの企画などを実施。

任期後も三隅のために

活気ある仙崎をもう一度

木育の始まりは林業から

実感のある言葉で情報発信

磯野 沙智恵 (向津具地区)
長門市出身/3年目
地域の交流の場の創出や、空き家の調査などを実施中。

岡 真由美 (木育担当)
千葉県出身/1年目
NPO法人「人と木」とともに木育の普及・啓発に取り組む。

大迫 思織 (向津具地区)
静岡県出身/3年目
子どもたちとオリンピック選手との交流イベントなどを企画。

村尾 悦郎 (観光担当)
長門市出身/1年目
観光における情報発信や各種デザインなどに携わる。

テレビ放送のお知らせ

座談会の様子は、ほっちゃんテレビで放送予定です。
■放送日(予定)
1/25(木)
※同一の内容で、複数回放送されます

隊員の活動に地域の思いが重なれば、きっと明るい未来につながります。ぜひ地域の皆さんも、隊員と一緒に意見や企画を出し合つて、市全体で地域おこしに取り組んでいきましょう。